



県警だより 57

長崎県における犯罪情勢と犯罪防止に向けた取組



長崎県警察本部生活安全部
参事官兼生活安全企画課長 平田 泰範

1 はじめに

長崎県警察では、基本姿勢を
「県民の期待と信頼に応える力強い警察」～安全で安心な長崎県をめざして～
と掲げ、地域社会と連携して犯罪の起きにくい安全で安心な長崎県を目指しています。

2 長崎県の概要

長崎県は九州の西側に位置し、五島列島、壱岐、対馬など、全国で最も島が多く、海岸線の長さは北海道に
続いて2番目を誇ります。観光名所としては、鎖国時代唯一の西洋への窓口「出島」、世界遺産にも認定された
「大浦天主堂」などがあり、国の重要無形民俗文化財に指定される「長崎くんち」などの貴重な民俗文化も受
け継がれています。



出島



大浦天主堂

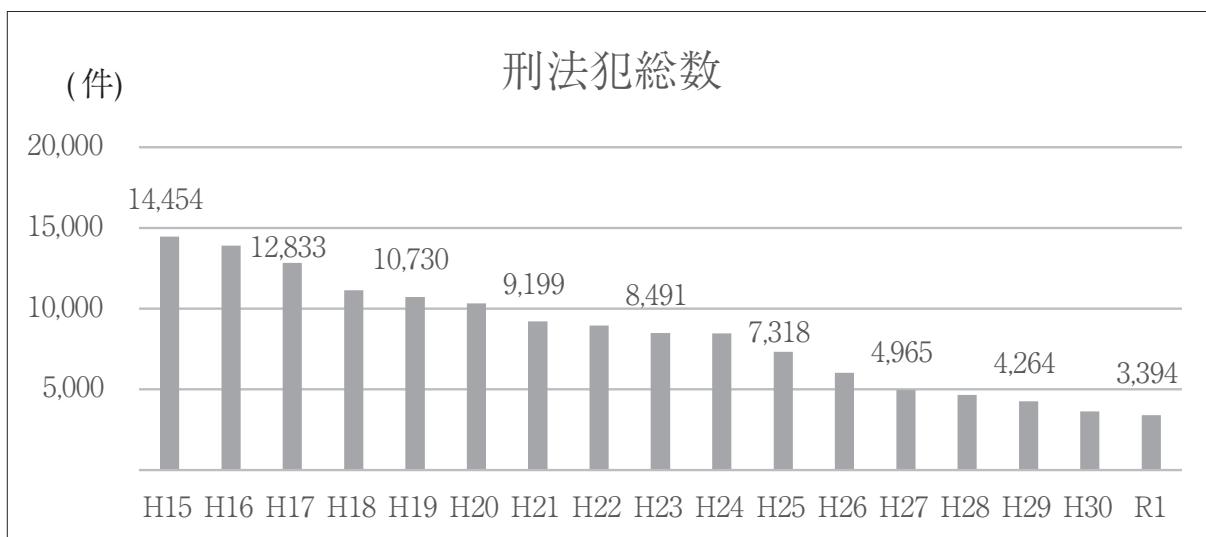


長崎くんち(龍踊り)

3 長崎県の犯罪情勢

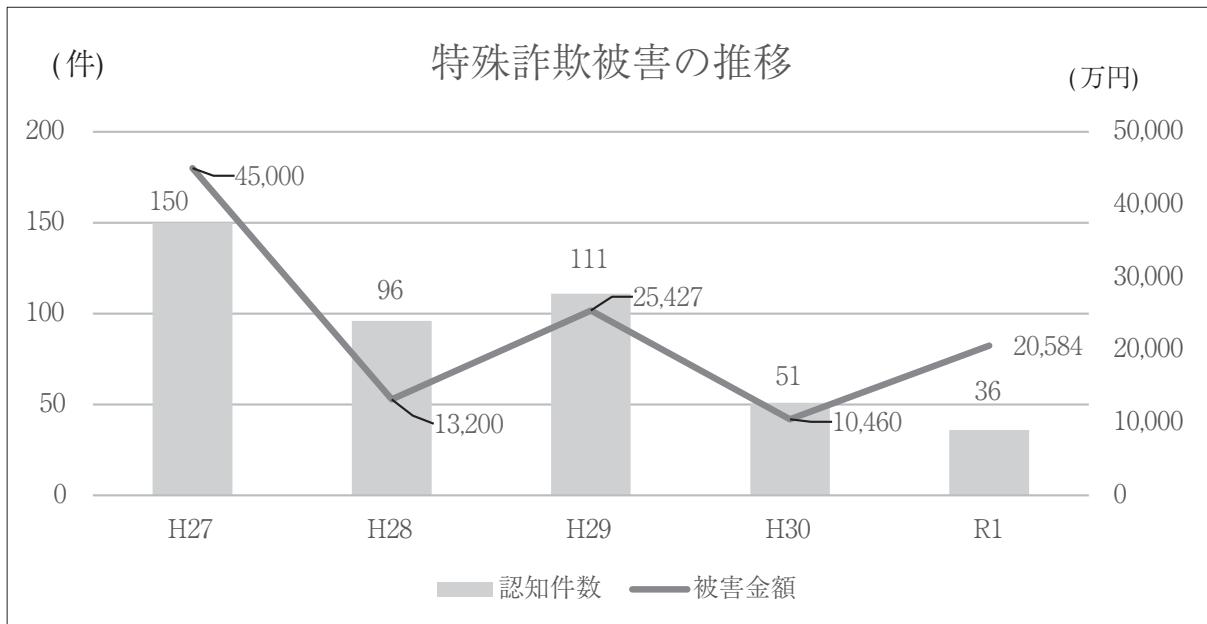
(1) 刑法犯認知件数

長崎県の刑法犯認知件数は、平成 15 年の 14,454 件が平成以降のピークであり、平成 16 年以降は毎年減少し、令和元年中は 3,394 件と戦後最少を記録していますが、刑法犯の多くを占める窃盗事件において、侵入盗、車上ねらい、乗り物盗など施錠が関係する種別につき、約 7 割が無施錠による被害であるなど県民の施錠意識の低さが問題となっています。



(2) 特殊詐欺被害状況

長崎県における特殊詐欺の認知件数は、平成 27 年から減少傾向にあり、令和元年中も認知件数は前年と比較して減少しましたが、1,000 万円を超える高額被害を 3 件認知したため、被害総額は前年より倍増するなど予断を許さない情勢が続いています。



4 犯罪抑止に向けた取組

(1) 犯罪なく3ば運動

長崎の方言に「～せんば（～しないといけないの意味）」があり、「鍵かけんば」「ひと声かけんば」「見守りせんば」を3つの柱とする「犯罪なく3（さん）ば運動」を平成25年度から県民総ぐるみの運動として展開し、モデル地区、自転車盗難防止モデル校を指定するなどして、各種犯罪抑止対策を推進しています。

特に刑法犯の多くを占める窃盗被害防止のため、「鍵かけんば」について県民の目を引くポスターを作成し、鍵掛け意識の高揚を図っています。



(2) ロックの日キャンペーン

毎年 6 月 9 日（ロックの日）には、県民の鍵掛け意識を始めとする自主防犯意識の高揚を図るため、日本ロックセキュリティ協同組合長崎支部と連携の上、防犯キャンペーンを実施しています。

平成 31 年 1 月には「長崎県防犯設備協会」が設立されたことから、同年のキャンペーンにおいては、同協会にも御協力いただいて実施しました。



防犯設備の展示

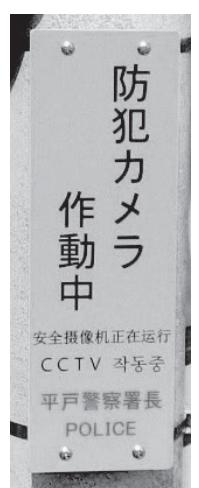


キャンペーン中の催し

(3) 街頭防犯カメラの設置

本県警察においては、犯罪の予防を目的として、街頭防犯カメラの設置を平成 24 年度から開始しており、令和元年度までに合計 190 台の街頭防犯カメラを県内全ての警察署管内に設置し、事件・事故等の発生時には効果的に活用しています。

また、事業者・自治体に対しても犯罪抑止効果を説明の上、街頭防犯カメラ設置の働き掛けを行い、事業者等による設置も徐々に広がっています。



県警設置の街頭防犯カメラ

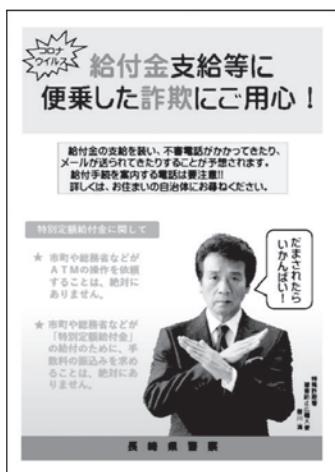
(4) 特殊詐欺等被害防止広報大使の委嘱

長崎県警察では、本県出身の歌手で高い知名度がある前川清さんを特殊詐欺等被害防止広報大使に委嘱して、広報面で御協力をいただいております。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大に便乗した詐欺の発生が強く懸念されたことから、前川清さんが「だまされたいかんばい」と長崎弁で呼び掛ける広報チラシを作成し、金融機関を始めとした事業所の御協力を得て掲示したり、新聞広告を掲載するなど県民への注意喚起を行いました。

また、カレンダーの作成配布やラッピングバスの運行なども行っています。

今後も前川清さんを起用し県民の心に響く広報を行っていきたいと考えています。



広報チラシ



ラッピングバス

5 結びに

平成 31 年 1 月、長崎県にも「長崎県防犯設備協会」が設立されました。

防犯設備協会におかれましては、安全で信頼できる防犯機器の普及や防犯システムの設計・施工等を通じて、県民生活の安全と安心の確保に御尽力いただき深く敬意を表します。

長崎県警察としては、今後とも防犯設備協会と緊密に連携し、安全で安心な長崎県を目指す所存ですので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。